

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	012340000	図書館	会計	01	一般会計
款	09	教育費	項	05	社会教育費
目	04	図書館費	事業1	099	01090504
事業2	010	図書館協議会運営費	事業3	001	図書館協議会運営費

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 秦野市図書館協議会を開催するもの
- ・目 的 図書館の運営に関し館長の諮問に応じるとともに、図書館の行う図書館奉仕について意見を述べる
- ・SDGs 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 委員からの多様な意見により円滑な図書館運営を図る
- ・目標値 開催回数 4回

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 図書館法、秦野市立図書館条例
- ・計 画 秦野市立図書館基本計画

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費 (進捗率) : 130千円
- ・令和6年度予算 事業費 (進捗率) : 160千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 213千円
- ・令和8年度以降 事業費 (進捗率) : 千円

3 令和5年度・令和6年度の取組内容 [D]

- ・令和5年度 図書館協議会の開催 (年3回)
- ・令和6年度 図書館協議会の開催 (年3回)

4 事業の自己評価 (効果・目標値に対する検証・課題・問題点等) [C]

図書館を取り巻く状況が変化する中において、利用者等のニーズを把握するとともに、それらを反映させた図書館運営を行うことが重要となる。

5 令和7年度の主な取組 (課題解決への取組等) [A]

図書館基本計画後期計画に基づく施策の進捗や今後の取組、予算・決算について、新総合計画や教育プラン、生涯学習推進計画、公共施設再配置計画、公共施設保全計画に位置付けられた取組との整合性を図り、図書館協議会の意見等を十分に聴き、進めていく。

また、次期図書館基本計画の策定に向けた検討を行う。

なお現委員の任期は令和7年8月23日までとなっているため、改選を行う。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	012340000	図書館	会計	01	一般会計
款	09	教育費	項	05	社会教育費
目	04	図書館費	事業1	099	01090504
事業2	010	図書館協議会運営費	事業3	001	図書館協議会運営費

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

令和7年度は時期図書館基本計画の策定年度であり、図書館協議会の意見を聴取するため、開催回数を1回増とする。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

4回開催（ただし、新型コロナウイルス拡大により現計画の策定時は1回未実施。

7 今後の取組方針（事業の方向性・改善方法）[A]

図書館協議会の客観的かつ専門的な視点からの意見は、図書館運営の方向性を定める上で重要であるため効果的に活用する

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

・予算計上額（うち一般財源） 該当なし

・内 容

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

・予算計上額（うち一般財源） 該当なし

・内 容

(3) 自然災害対策への取組

・予算計上額（うち一般財源） 該当なし

・内 容

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

・効果額（うち一般財源） 該当なし

・内 容

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	012340000	図書館	会計	01	一般会計
款	09	教育費	項	05	社会教育費
目	04	図書館費	事業1	099	01090504
事業2	020	施設維持管理費	事業3	001	施設維持管理費

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 図書館施設の維持管理を行うもの
- ・目 的 図書館施設の適切な維持管理及び長寿命化を図り、利用者に安全・安心で快適な図書館環境を提供する
- ・SDGs 4 質の高い教育をみんなに

(2) 効果・目標値

- ・効 果 安全で快適な図書館環境の提供
- ・目標値 公共施設再配置計画及び公共施設保全計画などを踏まえ、中長期視点に立った施設の改修、設備の更新を行う

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計 画 秦野市総合計画、秦野市立図書館基本計画、秦野市公共施設再配置計画、秦野市公共施設保全計画

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 : _____
- ・令和5年度決算 事業費 (進捗率) : 18,042千円
- ・令和6年度予算 事業費 (進捗率) : 47,232千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 87,426千円
- ・令和8年度以降 事業費 (進捗率) : _____千円

3 令和5年度・令和6年度の取組内容 [D]

- ・令和5年度 清掃、警備、各種設備機器保守点検などの業務委託：LAN設備修繕、チラーユニット修繕等
- ・令和6年度 清掃、警備、各種設備機器保守点検などの業務委託：エレベーター改修工事等

4 事業の自己評価（効果・目標値に対する検証・課題・問題点等） [C]

築後39年が経過し、老朽化により営繕等が必要な箇所が増えているため、利用者が安全・安心かつ快適に利用できるような施設の維持管理に努める必要がある。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等） [A]

- ・不具合箇所の修繕（読書環境の維持・向上、法令順守、施設機能維持など）を実施する。
- ・施設・設備の不具合や安全確保のため、建築物や消防設備の点検のほか、機械警備などの委託業務を実施する。
- ・営繕工事として、全庁的な照明のLED化に伴う照明設備更新工事のほか、空調機器改修工事などを実施する。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0123400000	図書館	会計	01	一般会計
款	09	教育費	項	05	社会教育費
目	04	図書館費	事業1	099	01090504
事業2	020	施設維持管理費	事業3	001	施設維持管理費

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

人件費単価の上昇に伴い保守点検等の委託業務が値上がり傾向にあるほか、照明設備更新工事、令和5年度の点検時の指摘箇所改修に係る費用を計上したこと、委託料及び工事請負費が増額となったため。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし

7 今後の取組方針（事業の方向性・改善方法）[A]

施設・設備の老朽化に伴い、様々な箇所施設及び設備の改修・修繕が必要となっているため、優先順位を的確に見定め緊急性の高いものから順次計画的に対応を進めていく。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

- ・ 予算計上額（うち一般財源） 該当なし
- ・ 内 容

(2) 「デジタル化」又は、「ゼロカーボンシティ」に資する取組

- ・ 予算計上額（うち一般財源） 62,000千円
- ・ 内 容 図書館内の照明設備をLED化することで、環境面、電気料高騰対策とする。

(3) 自然災害対策への取組

- ・ 予算計上額（うち一般財源） 4千円
- ・ 内 容 雪害対策として塩化カルシウム購入

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

- ・ 効果額（うち一般財源） 該当なし
- ・ 内 容

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	012340000	図書館	会計	01	一般会計
款	09	教育費	項	05	社会教育費
目	04	図書館費	事業1	099	01090504
事業2	030	図書館資料等購入経費	事業3	001	図書館資料等購入経費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 図書、記録、その他必要な資料の収集、整理、保存を行い、市民の利用に供するもの
- ・目 的 市民の生涯学習活動に役立つ資料を整備する
- ・SDGs 4 質の高い教育をみんなに
11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効 果 幅広い分野の蔵書を揃えることを基本として資料の適切な収集・管理を行い、市民ニーズに応える
- ・目標値 資料受入数 7,500冊

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 図書館法、公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準（文部科学省）、秦野市立図書館条例
- ・計 画 秦野市総合計画、秦野市教育振興基本計画、秦野市生涯学習推進計画、秦野市立図書館基本計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 : _____
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率） : 16,748千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率） : 16,840千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 16,835千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率） : _____千円

3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 図書等資料の選定・購入・装備、除籍
- ・令和6年度 図書等資料の選定・購入・装備、除籍

4 事業の自己評価（効果・目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

市民の要望及び社会的動向を考慮して資料収集を行っているが、より多様化・高度化している市民ニーズの把握に努めるとともに、更なる対応が求められている。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

公民館図書室及び団体貸出等の図書館資料の充実を図る。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0123400000	図書館	会計	01	一般会計
款	09	教育費	項	05	社会教育費
目	04	図書館費	事業1	099	01090504
事業2	030	図書館資料等購入経費	事業3	001	図書館資料等購入経費

原材料費等の高騰により、本や雑誌、新聞等のほか、各種消耗品が値上りしているが、資料購入費については現状維持を図った。

- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし

- 7 今後の取組方針（事業の方向性・改善方法）[A]
図書館資料の効率的、効果的な収集（選定・購入・装備等）について引き続き検討する。

8 その他

- (1) 市制施行70周年を契機とした取組
・ 予算計上額（うち一般財源） 該当なし
・ 内 容
- (2) 「デジタル化」又は、「ゼロカーボンシティ」に資する取組
・ 予算計上額（うち一般財源） 該当なし
・ 内 容
- (3) 自然災害対策への取組
・ 予算計上額（うち一般財源） 該当なし
・ 内 容
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
・ 効果額（うち一般財源） 該当なし
・ 内 容

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	012340000	図書館	会計	01	一般会計
款	09	教育費	項	05	社会教育費
目	04	図書館費	事業1	099	01090504
事業2	040	読書活動推進事業費	事業3	001	読書活動推進事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 各種おはなし会や講座・講演会の開催、ブックスタート事業、図書館と公民館図書室等との資料搬送、書誌データの収集・整備等を行うもの
- ・目 的 図書館事業を通じて市民の読書活動や図書館の利用促進を図る
- ・SDGs 4 質の高い教育をみんなに

(2) 効果・目標値

- ・効 果 市民の読書活動に対する興味関心の向上と図書館利用の促進、事業への参加者の増加
- ・目標値 資料予約件数 115,000件

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 図書館法、秦野市立図書館条例
- ・計 画 秦野市総合計画、秦野市教育振興基本計画、秦野市生涯学習推進計画、秦野市立図書館基本計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費 (進捗率) : 4,927千円
- ・令和6年度予算 事業費 (進捗率) : 5,895千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 5,867千円
- ・令和8年度以降 事業費 (進捗率) : 千円

3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 公民館図書室・駅連絡所等との資料搬送サービスの実施。おはなし会やブックスタート事業等の実施。
- ・令和6年度 公民館図書室・駅連絡所等との資料搬送サービスの実施。おはなし会やブックスタート事業等の実施。

4 事業の自己評価（効果・目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

ボランティアとの協働等により、おはなし会等の図書館事業を実施し、市民の生涯学習活動の支援、読書活動の推進を図る。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

読書活動を推進するための各種事業等を継続して実施する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0123400000	図書館	会計	01	一般会計
款	09	教育費	項	05	社会教育費
目	04	図書館費	事業1	099	01090504
事業2	040	読書活動推進事業費	事業3	001	読書活動推進事業費

報償費を実績の応じて計上したことにより減とした。

- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし

7 今後の取組方針（事業の方向性・改善方法）[A]

- ・子どもの読書離れの改善に向け、学校図書館との連携を検討する。
- ・ボランティア活動等の事業の見直しとともにボランティアの育成支援について検討する。

8 その他

- (1) 市制施行70周年を契機とした取組
・予算計上額（うち一般財源） 該当なし
・内 容
- (2) 「デジタル化」又は、「ゼロカーボンシティ」に資する取組
・予算計上額（うち一般財源） 該当なし
・内 容
- (3) 自然災害対策への取組
・予算計上額（うち一般財源） 該当なし
・内 容
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
・効果額（うち一般財源） 該当なし
・内 容

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0123400000	図書館	会計	01	一般会計
款	09	教育費	項	05	社会教育費
目	04	図書館費	事業1	099	01090504
事業2	050	郷土文学資料収集等経費	事業3	001	郷土文学資料収集等経費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 郷土文学資料の収集及び関連事業を実施するもの
- ・目 的 前田夕暮や谷鼎の貴重な郷土文学遺産を普及・継承し、短歌のふるさとづくりを推進する
- ・SDGs 4 質の高い教育をみんなに
11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効 果 郷土文学遺産を後世に継承し、秦野ゆかりの文学等に親しむ機会を提供する
- ・目標値 夕暮祭短歌大会応募数 1,500首

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 図書館法、秦野市立図書館条例
- ・計 画 秦野市総合計画、秦野市教育振興基本計画、秦野市生涯学習推進計画、秦野市立図書館基本計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 : _____
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率） : 2,192千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率） : 1,036千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 654千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率） : _____千円

3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 前田夕暮生誕140周年記念事業として、例年開催している夕暮祭短歌大会及び夕暮記念こども短歌大会を開催したほか、記念事業として各種講座や中学校出前授業、歌碑マップの刷新、夕暮デザインの読書手帳の作成などを実施
その他、前田夕暮記念室の運営や郷土文学資料の収集・整理を実施
- ・令和6年度 前田夕暮記念室の運営、夕暮祭短歌大会及び夕暮記念こども短歌大会の開催、郷土文学資料の収集・整備、中学校出前授業の実施

4 事業の自己評価（効果・目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

郷土の文学遺産を後世に継承するとともに、本市における短歌のふるさとづくりを通じて市民や全国の短歌愛好者等が秦野ゆかりの文学に親しむ機会として取り組んでいる。
前田夕暮や谷鼎に関係する文学資料を収集しているが、それらの整理が追いついていないのが現状である。
今後、はだの歴史博物館で導入を予定しているデジタルアーカイブへの搭載を目指す上でも、資料の取扱いを今一度見直

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0123400000	図書館	会計	01	一般会計
款	09	教育費	項	05	社会教育費
目	04	図書館費	事業1	099	01090504
事業2	050	郷土文学資料収集等経費	事業3	001	郷土文学資料収集等経費

すと共に、活用できる状態を整備していく必要がある。

短歌大会の選歌のほか、中学校出前授業など外部の協力者が不可欠な事業が多く、協力者の高齢化が進む中で今後の在り方を検討していく必要がある。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

- ・夕暮祭短歌大会、夕暮記念こども短歌大会を市制施行70周年記念大会と位置づけて開催する。
- ・前田夕暮、谷鼎など秦野にゆかりのある文学遺産の収集・整理、調査・研究、保存、公開を行う。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

令和5年度生誕140周年記念事業として実施し、令和6年度も継続して行った「中学校出前授業」の実施方法の見直しを図り、減額した。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

夕暮祭短歌大会応募数：令和6年度応募数 1,139首、令和5年度応募数 1,753首、令和4年度応募数 766首

7 今後の取組方針（事業の方向性・改善方法）[A]

郷土文化の普及・継承を目的に、特色ある図書館づくりの一環として郷土文学資料の収集や研究、紹介、整理保存に努めるとともに、夕暮祭短歌大会及び夕暮記念こども短歌大会を継続実施する。

また、前田夕暮生誕140周年記念事業の一環として実施した中学校出前授業については、次世代への郷土文化の普及・継承を目的として実施方法を見直し、学校教育との協働を図り実施する。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

- ・予算計上額（うち一般財源） 11千円
- ・内 容 夕暮祭短歌大会及び夕暮記念こども短歌大会に70周年記念の特別賞を創設する。

(2) 「デジタル化」又は、「ゼロカーボンシティ」に資する取組

- ・予算計上額（うち一般財源） 該当なし
- ・内 容

(3) 自然災害対策への取組

- ・予算計上額（うち一般財源） 該当なし
- ・内 容

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

- ・効果額（うち一般財源） 該当なし
- ・内 容

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	012340000	図書館	会計	01	一般会計
款	09	教育費	項	05	社会教育費
目	04	図書館費	事業1	099	01090504
事業2	060	視聴覚ライブラリー運営経費	事業3	001	視聴覚ライブラリー運営経費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 視聴覚教育教材・機材を整備し、利用促進を図るもの
- ・目 的 市民の視聴覚教育活動の振興等を図る
- ・SDGs 4 質の高い教育をみんなに

(2) 効果・目標値

- ・効 果 視聴覚教材・機材の貸出、映画会の開催により、市民の教養、レクリエーションに寄与する
- ・目標値 映画会開催回数 30回

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 図書館法、秦野市立図書館条例
- ・計 画 秦野市総合計画、秦野市教育振興基本計画、秦野市生涯学習推進計画、秦野市立図書館基本計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 : _____
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率） : 98千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率） : 125千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 97千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 視聴覚教材・機材の貸出、映画会の開催
- ・令和6年度 視聴覚教材・機材の貸出、映画会の開催

4 事業の自己評価（効果・目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

- ・映画会の開催により市民の生涯学習とともにレクリエーションの機会を提供している。
- ・地域の団体へ視聴覚教材・機材を貸出し、地域のコミュニティ活動に寄与している。
- ・デジタル化の推進に伴い、視聴覚に関するメディア（16mm、VHS、CDなど）や再生機等の生産が終了しているなど、事業の実施や資料の収集方針等について検討の必要性がある。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

- 市民ニーズに対応した映画会の開催、視聴覚教材・機材の収集、修理及び廃棄方針の検討。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0123400000	図書館	会計	01	一般会計
款	09	教育費	項	05	社会教育費
目	04	図書館費	事業1	099	01090504
事業2	060	視聴覚ライブラリー運営経費	事業3	001	視聴覚ライブラリー運営経費

- (1) 増減理由
事業の見直しを図ったため減額
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
映画会開催件数 令和5年度 30回、令和4年度 30回、令和3年度 20回
- 7 今後の取組方針（事業の方向性・改善方法）[A]
16ミリフィルム・映写機等の老朽化を踏まえた今後の方向性の検討等、視聴覚資料のニーズや費用対効果について検討する。
- 8 その他
- (1) 市制施行70周年を契機とした取組
・予算計上額（うち一般財源） 該当なし
・内 容
- (2) 「デジタル化」又は、「ゼロカーボンシティ」に資する取組
・予算計上額（うち一般財源） 該当なし
・内 容
- (3) 自然災害対策への取組
・予算計上額（うち一般財源） 該当なし
・内 容
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
・効果額（うち一般財源） 該当なし
・内 容

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	012340000	図書館	会計	01	一般会計
款	09	教育費	項	05	社会教育費
目	04	図書館費	事業1	099	01090504
事業2	070	市民大学開催経費	事業3	001	市民大学開催経費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 市民大学専門学習塾を開講するもの
- ・目 的 東海大学との提携事業により大学教員による多彩なテーマの講義を市民に提供する
- ・SDGs 4 質の高い教育をみんなに
17 パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効 果 大学教員による専門性の高い内容の講義を提供し、市民の教養等に役立っている
- ・目標値 受講者数 延360名(2講義各4回・定員60人、目標値75%)

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 図書館法、秦野市立図書館条例
- ・計 画 秦野市総合計画、秦野市教育振興基本計画、秦野市生涯学習推進計画、秦野市立図書館基本計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 : _____
- ・令和5年度決算 事業費(進捗率) : 132千円
- ・令和6年度予算 事業費(進捗率) : 120千円
- ・令和7年度予算 事業費(進捗率) : 120千円
- ・令和8年度以降 事業費(進捗率) : _____千円

3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 市民大学講義の開催(生誕140年を迎える前田夕暮にちなんだテーマを設定)
- ・令和6年度 市民大学講義の開催(大河ドラマに合わせ、源氏物語にちなんだテーマを設定)

4 事業の自己評価(効果・目標値に対する検証・課題・問題点等)[C]

市民が自ら教養等を高める生涯学習の機会として時事的な話題を取り入れるなど、魅力ある講座の開催に努めている。

5 令和7年度の主な取組(課題解決への取組等)[A]

受講者に対して実施したアンケートの結果を踏まえるなどにより、多様な講義テーマを企画する。
令和6年度に引き続き、受講率の向上を目的として、全10回(2講義各5回)であった開催回数を全8回(各講義4回)とする。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0123400000	図書館	会計	01	一般会計
款	09	教育費	項	05	社会教育費
目	04	図書館費	事業1	099	01090504
事業2	070	市民大学開催経費	事業3	001	市民大学開催経費

6 要求額の増減理由・根拠[A]

- (1) 増減理由
増減なし
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
受講者数：令和6年度 延267人、令和5年度 延231人、令和4年度 延327人

7 今後の取組方針（事業の方向性・改善方法）[A]

東海大学との提携事業として大学の保有する教育機能を活用し、学習機会の提供に取組む。
講義内容に合わせた所蔵資料の特集コーナーを設けるなど、受講者が興味の幅を広げるきっかけを提供すると共に、利用者増の契機となるような仕掛けを積極的に実施する。

8 その他

- (1) 市制施行70周年を契機とした取組
・予算計上額（うち一般財源） 該当なし
・内 容
- (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
・予算計上額（うち一般財源） 該当なし
・内 容
- (3) 自然災害対策への取組
・予算計上額（うち一般財源） 該当なし
・内 容
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
・効果額（うち一般財源） 該当なし
・内 容

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	012340000	図書館	会計	01	一般会計
款	09	教育費	項	05	社会教育費
目	04	図書館費	事業1	099	01090504
事業2	080	電子図書館運営経費	事業3	001	電子図書館運営経費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 多様化する市民ニーズに対応するために非来館型のサービスとして電子図書館を運営する
- ・目 的 図書館へ来館することが困難である方もインターネットを利用することで、いつでもどこからでも閲覧や貸出・返却、検索等ができる電子書籍サービスの導入により読書の機会を増やし、利便性の向上を図る
- ・SDGs 4 質の高い教育をみんなに

(2) 効果・目標値

- ・効 果 仕事や身体的理由など様々な理由で図書館に来館することが難しかった方へも読書機会の提供が可能となる
- ・目標値 電子図書館利用を含めた図書館入館者数 220,000人

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 図書館法、秦野市立図書館条例
- ・計 画 秦野市総合計画、はだの行政サービス改革基本方針、秦野市公共施設再配置計画、秦野市公共施設保全計画、秦野市情報化推進計画、秦野市教育振興基本計画、秦野市生涯学習推進計画、秦野市立図書館計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費 (進捗率) : 2,124千円
- ・令和6年度予算 事業費 (進捗率) : 2,320千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 2,320千円
- ・令和8年度以降 事業費 (進捗率) : 千円

3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 電子書籍(コンテンツ)の充実を図ったほか、9月から市内小中学校7校の児童生徒(教職員を含む。)に電子図書館利用アカウントを一斉付与した。また、10月1日からは、学校における読書活動の推進を目的に児童向けの読み放題パックを導入した。
- ・令和6年度 電子書籍(コンテンツ)の充実を図ったほか、新たに8校の児童生徒(教職員を含む。)に電子図書館利用アカウントを一斉付与した。
また、学校における読書活動の推進を目的に児童向けの読み放題パックを追加導入し、計3パックとした。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	0123400000	図書館	会計	01	一般会計
款	09	教育費	項	05	社会教育費
目	04	図書館費	事業1	099	01090504
事業2	080	電子図書館運営経費	事業3	001	電子図書館運営経費

4	<p>事業の自己評価（効果・目標値に対する検証・課題・問題点等）[C] 多様化する生活様式により、様々な事情で来館が難しい利用者への読書機会の提供に効果的である。 紙の本と比較し、コンテンツ数が少ないことや単価が高いこと、また、利用者ニーズを捉えた選書等が課題となる。</p>
5	<p>令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A] 電子図書館の運営及び電子書籍の選書、一般利用での活用促進</p>
6	<p>要求額の増減理由・根拠[A] (1) 増減理由 読書活動の推進を目的とした児童生徒への電子図書館利用アカウントの一斉付与の拡大による利用者増に伴い、 コンテンツ不足となることを回避するために引き続き読み放題パックの導入を行うことから、使用料及び賃借料は 昨年度と同額。 (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等） 導入コンテンツ数：11,137点(令和6年10月末時点)</p>
7	<p>今後の取組方針（事業の方向性・改善方法）[A] 電子図書館の効果的かつ幅広い活用及び今後の図書館サービスのあり方について検討する。</p>
8	<p>その他 (1) 市制施行70周年を契機とした取組 ・予算計上額（うち一般財源） 該当なし ・内 容 (2) 「デジタル化」又は、「ゼロカーボンシティ」に資する取組 ・予算計上額（うち一般財源） 該当なし ・内 容 (3) 自然災害対策への取組 ・予算計上額（うち一般財源） 該当なし ・内 容 (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減） ・効果額（うち一般財源） 該当なし ・内 容</p>

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	012340000	図書館	会計	01	一般会計
款	09	教育費	項	05	社会教育費
目	04	図書館費	事業1	099	01090504
事業2	090	図書館事務費	事業3	001	図書館事務費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 図書館の適切な管理運営を行う
- ・目 的 図書館の円滑な管理運営を行う
- ・SDGs 4 質の高い教育をみんなに

(2) 効果・目標値

- ・効 果 図書館の各事業が円滑に進行し、持続的な図書館サービスの提供が可能となる
- ・目標値 図書館の適切な管理運営の継続実施

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 図書館法、秦野市立図書館条例
- ・計 画 秦野市総合計画、はだの行政サービス改革基本方針、秦野市公共施設再配置計画、秦野市公共施設保全計画、秦野市情報化推進計画、秦野市教育振興基本計画、秦野市生涯学習推進計画、秦野市立図書館計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 : _____
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率） : 86,768千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率） : 92,046千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 101,256千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率） : _____千円

3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 会計年度任用職員の任用、窓口業務等委託、図書館システム管理運用、事務機器の賃貸借等
- ・令和6年度 会計年度任用職員の任用、窓口業務等委託、図書館システム管理運用、事務機器の賃貸借等
また、契約期間満了に伴いプロポーザル方式により次期窓口業務等委託事業者の選定を行った。

4 事業の自己評価（課題・問題点等）[C]

行政サービスの適切な管理運営が問われる中で、サービスの質を維持しつつ特色ある図書館づくりを推進していくための手法や方策を検討する必要がある。また質の維持のみでなく、社会動向や利用者ニーズを見極めつつ、サービス内容の充実を図っていく必要がある。

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

図書館業務運営の円滑化、効率化。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月12日

所属	012340000	図書館	会計	01	一般会計
款	09	教育費	項	05	社会教育費
目	04	図書館費	事業1	099	01090504
事業2	090	図書館事務費	事業3	001	図書館事務費

次期秦野市立図書館基本計画の策定。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

会計年度任用職員の最低賃金の上昇や勤勉手当の導入、また、窓口業務等委託及び図書館システム用機器賃貸借の契約更新などがあったことから、報酬及び職員手当等のほか委託料や使用料及び賃借料が増額となったため。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

該当なし

7 今後の取組方針（事業の方向性・改善方法）[A]

窓口業務等委託を含め、公立図書館としての適切な運営体制を継続的に検討する。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

・予算計上額（うち一般財源） 該当なし

・内 容

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

・予算計上額（うち一般財源） 該当なし

・内 容

(3) 自然災害対策への取組

・予算計上額（うち一般財源） 該当なし

・内 容

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

・効果額（うち一般財源） 該当なし

・内 容